

たてわりスキルタイム略案 9月 3年生と4年生

1. ねらい

「1番小さい1目盛りが表す大きさに着目して数直線を読み取り、その過程を言葉や数を用いて説明する力を高める。」

2. 板書計画

- ・問題や正答は、iPadを使ってプリントを拡大して映す。
- ・黒板には、活動の流れ（別紙）を提示

3. 活動の流れ

段階	児童の活動	教師の働き掛け □は、重要な指示や発問	準備物等
導入 1分	あいさつ・めあての確認	1 はじめの挨拶 2 今日は、「一番小さい1目盛りが表す大きさはいくつか」の理由に気を付けてステップ問題を伝え合いましょう。 3 活動の流れの説明 上学年が司会で②までを3分間で。	・児童の机上にはプリント、筆記用具 ①下学年が上学年に説明 ②上学年が下学年に説明、良かった点を褒める、アドバイス ③ジャンプ問題
		4 ②では、3年生の説明に足りない部分があったら4年生は質問しましょう。条件を全てクリアできたら、他には、どんな式で表せるかを伝え合いましょう。より多くの方ができるとすばらしいですね。	
展開 5分	伝え合う ①、② 全体で正答を確認	5 活動の様子を観察する。(活動終了後に良かった点を具体的に褒められるように) 全体の様子を見ながら、活動が滞っているペアには、必要に応じて支援する。 6 3分で終了を知らせる。 7 良い交流の姿を称賛(両学年) 8 正答の確認	<5 支援の例> ・上学年が司会を進められない →活動の流れを見て進行させる。 ・下学年が説明できずにいる →上学年に質問させ、それに答える形で発表させる。 6 時間は延長しない。 7 交流する姿のモデルとして全体に広めるため 8 iPad活用。解答の①～④の全ての条件を満たして正答。
終末 4分	ジャンプ問題に取り組み、振り返る。	9 ジャンプ問題に取り組みます。時間は3分間です。 ※励ましたり、やる気を引き出したりする一言をお願いします。 10 3分後終了の合図 11 教員から一言 12 終わりの挨拶	

たてわりスキルタイム略案 11月8日 4-2と5-1

1. ねらい

「どの数を組み合わせると計算が簡単になるのかを判断し、説明する力を高める。」

2. 板書計画

・問題や正答は、iPadを使ってプリントを拡大して映す。

・黒板には、活動の流れ（別紙）を提示

3. 活動の流れ

段階	児童の活動	教師の働き掛け □は、重要な指示や発問	準備物等
導入 1分	1. あいさつ・ めあての確認	1 はじめの挨拶 2 今日は、「計算が簡単になるように、どの数を組み合わせたのか」 が分かるようにステップ問題の考え方を伝え合いましょう。 3 活動の流れの説明 上学年が司会で②までを3分間で	・児童の机の上にはプリント筆記用具 ①下学年が上学年に説明 ②上学年が下学年に説明、良かった 点を褒める、アドバイス ③ジャンプ問題
		4 ②では、4年生の説明に足りない部分があったら5年生は質問しましょう。	
展開 5分	2. 伝え合う ①、② 全体で正答を 確認	5 活動の様子を観察する。(活動終了 後に良かった点を具体的に褒められる ように) 全体の様子を見ながら、活動 が滞っているペアには、必要に応じて 支援する。 6 3分で終了を知らせる。 7 良い交流の姿を称賛(両学年) 8 正答の確認	<5 支援の例> ・上学年が司会を進められない →活動の流れを見て進行させる。 ・下学年が説明できずにいる →上学年に質問させ、それに答える形 で発表させる。 6 時間は延長しない。 7 交流する姿のモデルとして全体 に広める。 8 ICT機器を活用し、正答を全 体で共有する。
終 末 4 分	3. ジャンプ問 題に取り組み、 振り返る。	9 ジャンプ問題に取り組みます。時間は3分間です。 ※励ましたり、やる気を引き出したりする一言をお願いします。 10 3分後終了の合図 11 教員から一言 12 終わりの挨拶	

<ホップ問題> 家庭学習

計算のきまりを使うと計算を簡単に行うことができます。

ホップ1

$$(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$$

例えば

$$\begin{aligned} 109 \times 5 &= (100 + 9) \times 5 \\ &= 100 \times 5 + 9 \times 5 \\ &= 500 + 45 \\ &= 545 \end{aligned}$$

ポイントは、計算が簡単になる数を組み合わせることです。この場合は、109を(100+9)とみて計算を工夫しています。

109×5と(100+9)×5は、同じ大きさを表しているのので等号でつなぐことができます。



ホップ2 計算のきまりを使って工夫して計算をしましょう。

$$107 \times 5$$

<計算を工夫した点>

107を()と()に分けて考えた。

<ステップ問題> 家庭学習で取り組み、スキルタイムで説明します。

ステップ1

下の計算のきまりを使って工夫して計算をします。

$$(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$$

例えば、

$$98 \times 6 = (\quad - 2) \times 6 \text{ と考えることができます。}$$

下の()中の空いているスペースに入る数字を書きましよう。また、等号をそろえて、計算の続きを書き

$$98 \times 6 = (\quad - 2) \times 6$$



ステップ2 計算を工夫した点を書きましよう

計算を工夫した点は、

<ジャンプ1> スキルタイムの最後に自力でときます。

計算のきまりを使って工夫して計算をしましょう。

また、計算を工夫した点を書きましよう。

$$7 \times 99$$

計算を工夫した点は、

ジャンプ2 (ジャンプ1が終わったらチャレンジ)

計算のきまりを使って工夫して計算をしましょう。

$$108 \times 5$$

<ふり返り>

たてわりスキルタイム略案 11月 4年生と5年生

1. ねらい

「計算が簡単になるように、どの数を組み合わせたのかを説明する力を高める。」

2. 板書計画

- ・問題や正答は、i P a dを使ってプリントを拡大して映す。
- ・黒板には、活動の流れ（別紙）を提示

3. 活動の流れ

段階	児童の活動	教師の働き掛け □は、重要な指示や発問	準備物等
導入 1分	1. あいさつ・ めあての確認	1 はじめの挨拶 2 今日は、「計算が簡単になるようにどの数を組み合わせたのか」の理由に気を付けてステップ問題を伝え合いましょう。 3 活動の流れの説明 上学年が司会で②までを3分間で	・児童の机上にはプリント筆記用具 ①下学年が上学年に説明 ②上学年が下学年に説明、良かった点を褒める、アドバイス ③ジャンプ問題
		4 ②では、4年生の説明に足りない部分があったら5年生は質問しましょう。	
展開 5分	2. 伝え合う ①, ② 全体で正答を確認	5 活動の様子を観察する。(活動終了後に良かった点を具体的に褒められるように) 全体の様子を見ながら、活動が滞っているペアには、必要に応じて支援する。 6 3分で終了を知らせる。 7 良い交流の姿を称賛(両学年) 8 正答の確認	< 5 支援の例 > ・上学年が司会を進められない →活動の流れを見て進行させる。 ・下学年が説明できずにいる →上学年に質問させ、それに答える形で発表させる。 6 時間は延長しない。 7 交流する姿のモデルとして全体に広める。 8 I C T機器を活用し、正答を全体で共有する。
終末 4分	3. ジャンプ問題に取り組み、振り返る。	9 ジャンプ問題に取り組みます。時間は3分間です。 ※励ましたり、やる気を引き出したりする一言をお願いします。 10 3分後終了の合図 11 教員から一言 12 終わりの挨拶	

<ホップ問題> 家庭学習

計算のきまりを使うと計算を簡単に行うことができます。

ホップ1

$$(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$$

例えば

$$\begin{aligned} 109 \times 5 &= (100 + 9) \times 5 \\ &= 100 \times 5 + 9 \times 5 \\ &= 500 + 45 \\ &= 545 \end{aligned}$$

ポイントは、計算が簡単になる数を組み合わせることです。この場合は、109を(100+9)とみて計算を工夫しています。

109×5と(100+9)×5は、同じ大きさを表しているのので等号でつなぐことができます。



ホップ2 次の計算の続きを書きましょう。

$$\begin{aligned} 107 \times 5 &= (100 + 7) \times 5 \\ &= 100 \times 5 + 7 \times 5 \\ &= 500 + 35 \\ &= 535 \end{aligned}$$

ホップ3 ()に数字を入れて、上の計算の工夫を説明しましょう。

107を(100)と(7)に分けて考えると、 $100 \times 5 + 7 \times 5$ になって計算が簡単になります。

<ステップ問題> 家庭学習で取り組み、スキルタイムで説明します。

ステップ1

下の計算のきまりを使って工夫して計算をします。

$$(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$$

例えば、

$$24 \times 4 = (\quad - 1) \times 4 \text{ と考えることができます。}$$

まさし先生は、次のように計算しました。

まさし先生の計算の続きを書きましょう。

$$\begin{aligned} 24 \times 4 &= (25 - 1) \times 4 \\ &= 25 \times 4 - 1 \times 4 \\ &= 100 - 4 \\ &= 96 \end{aligned}$$

ステップ2

ホップ3を参考に()

まさし先生の考えを説明しましょう。



4を(25-1)と見て計算すると、

$24 \times 4 = (25 - 1) \times 4$ と同じ大きさになります。
す。100-4となるので、計算が簡単になります。

<ジャンプ1> スキルタイムの最後に自力でときます。

次の計算の続きを書きましょう。また、この計算の工夫を説明する文章を書きましょう。

$$\begin{aligned} 28 \times 4 &= (25 + 3) \times 4 \\ &= \end{aligned}$$

<説明>

ジャンプ2 (ジャンプ1が終わったらチャレンジ)

$$28 \times 4 = (\quad - \quad) \times 4$$

<ふり返り>